

令和3年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立天竜特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立天竜特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input checked="" type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	73人

1. 使用状況

寄贈物品名	電子ドラムセット
使用学年及び人数	小学部、中学部、高学部 希望がある児童生徒各学部5～10人程度
使用頻度	令和4年4月～11月まで週1～3回程度
使用状況	小学部では子供たちにとっても人気があり、休み時間にとっても楽しそうに演奏して遊んでいる。 中学部では、音楽の時間に興味をもった生徒が自由に演奏できる時間を設けた。 高等部では、主に昼休みに、興味がある生徒や音楽が好きな生徒が自由に演奏した。
物品の使用による変化や効果	ヘッドホンを装着することで、自分の音が自分だけに聞こえ、周囲を気にせずに演奏することができた。演奏した後は清々しい表情で次の活動に移ることができている。演奏した生徒は、皆「(自分の)耳の中が、ライブ会場みたいで楽しい。」という感想を言い、楽しそうに、時にダイナミックに演奏をしていた。
今後の活用の見通しや課題	ヘッドホンを装着して演奏することで周囲を気にせずに演奏できるため、生徒は演奏をしたい気持ちが満たされて、音楽に対しての自信につながったり、興味関心が深まっていく様子が見られた。今後も昼休み等の自由時間に、演奏が好きな生徒を中心に使用をしていく。また、自由に楽器に触れられる機会を設定し、興味はあるがなかなか触れられない生徒にも体験できるようにしていく。
その他希望や所感など	気持ちの不安定な子供たちが、電子ドラムを演奏することで心が開放でき、情緒の安定につながっています。また、家庭等でドラムを演奏する機会はなかなか得られないため、興味・関心が広げることができ、とても感謝しています。将来、本物のドラムを演奏しようとする子も出てくるかもしれません。

2. 活用の様子

ドラムが好きな生徒が、休み時間に演奏しています。

休み時間に、演奏を楽しんでいます。
いろいろな音が出て、思い切り演奏できるので最高ですね！

